

# オアシス通信



## 賛美と礼拝 意味を学ぶ

### オリント師招く

日本のキリスト教の歴史において、マカオは重要な役割を果たしました。十六世紀に来日したポルトガルやスペインのカトリックの多くの宣教師たちは、日本宣教の準備をマカオで行ったからです。そのマカオにおいて伝道牧会をしておられるオリント・オリベira師ご夫妻（ブラジルからの宣教師）を十月十九日の礼拝にお招きしました。多民族が集まっている街であり、公営ギャンブルで有名な町であるマカオで伝道することは至難の業ですが、オリント先生ご夫妻はインターナショナル・クリスチャン・アソシエーション（ICA）教会を開拓し、素晴らしい教会形成



をしてられます。礼拝では、「賛美への招待」と題して、本日の賛美と礼拝の意味について教えていただきました。以下は、その要点です。  
— 本日の賛美と礼拝は、主だけが唯一の神と認識することです。神が何かをしてくださったから賛美するというのではなく、神が神であられるゆえに神を賛美し礼拝することが本日の賛美と礼拝です。  
— 『ハレルヤ。まことに、われらの神にほめ歌を歌うのは良い。』（詩篇147・1）とあるように、現実の問題から目を離し、まず主を賛美しましょう。賛美することは、自分の問題に悩むことから解

10月25日（土）11時から、ひかりのこどもイベントが行われました。24名の子供たちが参加しました。輪投げ、缶つみ、御言葉の並べ替えなど5種類のゲームと簡単な工作のコーナーが用意されました。



キャンプ以来久しぶりに来てくれた子、初めて教会に来た子もあり、みんな楽しく遊ぶことができました。これからも教会に気軽に足を運んでもらえるように祈ってまいります。

## ひかりのこども イベントで交わり ティーンズ

10月19日午後ティーンズで「ハンバーガーパーティー」を開催しました。初めて教会に来た中高生や以前に土曜「ひかりのこども」に来ていた子供たちが中学生になって参加してくれるなど18名の参加者がありました。全員が第3礼拝に出席。6人の若者が新たにイエス・キリストを救い主として信じていく決断をしました。



美雪姉と渡邊兄婚約式  
十月十一日（土）の午後、大栗美雪姉と渡邊勇士兄（御殿場純福音教会の会員）の婚約式が当教会において小山牧師司式の下に執り行われました。式の後、ご両家の皆さんや牧師夫妻、上田長老夫妻、お手伝の姉妹たちで歓談の時間が持たれました。結婚式は来年四月二十五日に御殿場純福音教会で行われます。



美雪姉と渡邊兄婚約式  
十月十一日（土）の午後、大栗美雪姉と渡邊勇士兄（御殿場純福音教会の会員）の婚約式が当教会において小山牧師司式の下に執り行われました。式の後、ご両家の皆さんや牧師夫妻、上田長老夫妻、お手伝の姉妹たちで歓談の時間が持たれました。結婚式は来年四月二十五日に御殿場純福音教会で行われます。

## 万が一に備えて 防災訓練実施



放し、主のご性質に焦点をあてるよう導いてくれます。

十月十二日礼拝に引き続き避難訓練が行われました。礼拝室から非常階段を使って一階に避難した後、野村兄から防災についての話を聞きました。今回は新しい試みとして、人が人の搬送の仕方を学びました。道具の無い時に数人の手で搬送の仕方、竹と毛布を使った担架の作り方など実際にを行いました。